

横浜市港南区民文化センター

指定管理者選定評価委員会（第2回委員会）議事要旨

開催日時	令和3年8月18日（水） 9時00分から11時30分まで
開催場所	区役所602会議室
出席者	影山委員長、太下委員、小川委員、菅原委員、宮田委員（計5名）
傍聴者	なし
議題	はじめに（横浜市港南区民文化センターの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 審議	<p>1 面接審査</p> <p>1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。</p> <p>《京急グループ共同企業体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の人口が28.7%という港南区の特性を鑑み、高齢者が心身ともに健康で過ごすための取組として高齢者施設へのアウトリーチ事業のほか、未病対策コンテンツの提供などを考えている。 ・会場に足を運ぶことができない方々もイベントに参加できるような新たな文化芸術の楽しみ方を取り入れ、ライブとネットの双方で情報を発信し、ネット上のコミュニティを築いていく。 ・情報コーナーを核としたパブリックスペースで子育てファミリー向けワークショップの開催を企画している。 ・区民の方々が特技を活かすことができるような、テーマを絞り目的を明確にしたボランティアの募集をする予定。 ・敷居を低くした入門的なクラシック音楽の講座を開催し、クラシックに興味や親しみを持ってもらえる人の裾野を広げていく。 ・駅や商業施設利用者が多く行き交う百貨店のレストランフロアやウィリングのスペースを利用し、様々なターゲットに向けた芸術鑑賞機会の提供をする。 ・港南区の団体や企業をパートナーとして、双方が持つ技術や人的資産の交流により相互のつながりを深め、共に情報を広めていく関係を構築する。 ・新型コロナウイルス感染症については、対応マニュアルを作成し、全スタッフへの周知徹底により、安全な施設運営の体制を築いていく。 <p>《横浜メディアアド・秀和ビルメンテナンス共同事業体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層及び上大岡周辺以外に在住している方に文化芸術の紹介、鑑賞、体験機会を提供することを重点とし、その後の文化活動の新たな担い手として育成していく。 ・文化芸術活動を担う人材を育むため、ワークショップ型事業で学び、成果を発表するといった流れを見込んでいる。 ・高校生や大学生、専門学校など学生主体のバンドを募って「学生バンドクリニック」を開催し、世代を超えた交流、仲間づくりを推進する。 ・ミュージカルの楽曲やシネマコンサート、知名度のあるアーティストや団体による公演などエンターテインメント性の高い事業を導入して、新しいエリアからの来場者を促す。 ・地域内の類似施設や関連団体と連携し、文化芸術活動を通して地域課題の解決を図る。 ・新型コロナウイルス感染症の影響下では医療施設の豊富な施設管理の実績を活用し、徹底した

	<p>感染予防対策をとりながら運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで港南区民文化センターの手法やネットワークを活用しつつ、新たな考え方に基づく新たな取り組みや手法にチャレンジする。 ・幅のあるジャンルでの展開を図り、区民の様々なニーズに対応することで新たな来館層の開拓にも繋げる。 <p>2 審議</p> <p>第4期横浜市港南区民文化センターの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、京急グループ共同企業体を指定候補者として選定した。</p> <p>【委員意見】</p> <p>《京急グループ共同企業体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな団体などに目を向けるという提案は良かったが、区内全域への目配りが不足している。 ・高齢者プログラムへの配慮や子供向け事業が良いと思った。 ・港南ストリートコンサートは人材育成の点からも良い取組だと思った。 ・音楽コンテンツに頼らず、音楽以外のワークショップなどへの取組が評価できた。一方で、盛り沢山の提案だったため、本当に実現できるのか疑問が残った。 ・新しい利用者への掘り起こしが進んでいないように思えた。施設の周知に課題がある。 ・具体的な観点でのボランティア募集に好感が持てた。 ・地域のニーズや時代の状況を把握しようとしている姿勢が良いと思った。一方で、長期的な視野や新しい視点が不足していた。 <p>《横浜メディアアド・秀和ビルメンテナンス共同事業体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成に力を入れており、将来の人材を育てていく上で評価できると思った。 ・キャッチフレーズや「ハマケン」の活動についてユニークで良いと思った。 ・港南区民文化センターへの取組に繋がるような具体的な提案があると良かった。 ・著名なミュージシャンによる公演の提案については、地域の将来には繋がらないのではないかと感じた。 ・コロナ対策についての具体的な提案が良かった。 ・港南台地区についての提案はあったが、港南区民文化センターがある上大岡地区について、理解しているのか疑問が残った。 ・港南区の現状についての調査を行い、地域を把握しようとしているところは好感が持てた。
審議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・京急グループ共同企業体を横浜市港南区民文化センターの指定候補者とする（733点/1,100点）。 ・横浜メディアアド・秀和ビルメンテナンス共同事業体を横浜市港南区民文化センターの次点候補者とする（723点/1,100点）
特記事項	特になし